第１０号議案

議題１　全国大会実施基準改訂・方向性等に関して

（１）農業鑑定競技会実施基準の大項目の提示について

日連では、令和元年度春季代議員会第10号議案「全国大会実施基準改訂スケジュール」に従い、「農業鑑定競技会」の分野および大項目について検討し、以下の案を作成しましたのでここに提案します。

新学習指導要領の教科「農業」における分野構成と農業鑑定競技会の分野および大項目（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野構成 | 分 野 | 大　項　目 |
| 基礎的な科目 | 0.共通 | 農業と環境 | 農業と情報 |  |  |  |  |
| 農業生産や農業経営 | 1.作物 | 作物 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |  |
| 2.野菜 | 野菜 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |  |
| 3.果樹 | 果樹 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |  |
| 4.草花 | 草花 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |  |
| 5.畜産 | 畜産 | 飼育と環境 | 農業経営 | 農業機械 | *食品製造* |  |
| 食品製造や食品流通 | 6.食品 | 食品製造 | 食品化学 | 食品微生物 | 食品流通 |  |  |
| 国土保全や環境創造 | 7.森林 | 森林科学 | 森林経営 | 林産物利用 | 測量 |  |  |
| 8.農業土木 | 農業土木設計 | 農業土木施工 | 水循環 | 測量 |  |  |
| 9.造園 | 造園計画 | 造園施工管理 | 造園植栽 | 測量 |  |  |
| 資源活用や地域振興 | 10.生活 | 野菜 | 草花 | 生物活用 | 地域資源活用 | *食品製造* | 家庭基礎 |

※家庭基礎は家庭科の科目

・新学習指導要領で再構成された４分野内に、0～10の各分野と大項目を配置する。ただし、5．畜産と10．生活の*食品製造*は、分野と関連の深い科目のため、現行同様大項目に含める。

・【農業生産や農業経営】の分野は、科目構成と現行の課題（分野別参加人数の格差等）を踏まえ、細分化する。

・大項目「水循環」は、現行の分野『森林』および『造園』では出題範囲が少量であるため、削除する。

〇期待される効果

・学習範囲を絞ることができ、より深い学習ができる。

・農業技術検定出題分野との共通化により、生徒の学習及び教員の指導の効率化を図ることができる。

・分野別参加人数の格差が是正されると予想される。

・分野数が増えるため、表彰のチャンスが増える。

参考資料

（１）高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説農業編で示された分野構成

|  |  |
| --- | --- |
| 分　野　等 | 科　目 |
| 分野共通の科目 | 基礎的な科目 | 農業と環境・農業と情報 |
| 総合的な科目 | 課題研究・総合実習 |
| 分野 | 農業生産や農業経営 | 作物・野菜・果樹・草花・畜産・栽培と環境・飼育と環境・農業経営・農業機械・植物バイオテクノロジー |
| 食品製造や食品流通 | 食品製造・食品化学・食品微生物・食品流通 |
| 国土保全や環境創造 | 森林科学・森林経営・林産物利用・農業土木設計・農業土木施工・水循環・造園計画・造園施工管理・造園植栽・測量 |
| 資源活用や地域振興 | 生物活用・地域資源活用 |

（２）令和元年度の検討過程

８月　中央指導委員会

現行の農業鑑定競技会実施基準の課題に関する意見を集約した。

１０月　第１回全国大会実施基準改訂委員会（参加者：文部科学省教科調査官、日連代表、副代表、中央指導委員）

　　　　　　改訂の方向性として、生徒が自分の所属する学科やコース等における専門分野をより深く学習できるよう

　　　　　　な分野及び大項目の構成にしていくことを確認した。

１２月　中央指導委員会

　　　　　　第１回全国大会実施基準改訂委員会を受けて、分野および大項目について検討し、案を作成した。